

安成二郎 （詩翁）、歌人、小説家。明治十九年九月十九日秋田縣生れ、
昭和四十九年四月二十日歿（八六一七五）。號凡鶯、凡鶯生、凡雛、
喜鶯、山耳、山耳山人、懷春、海の人魚、郵虛呆亭、鬼鶯、安成凡鶯、
安成山耳等。大館中學校中退。新聞・雜誌記者など。小説は徳田秋聲
の師事。評論家安成貞雄の弟。

譯著書、警句集『女と惡魔』（譯、大正二年二月十四日新潮社）、可傑作
童謡選集』（合著・大畑匡山編著、大正十一年六月五日岡村書店）、
ヤンリイ・フタバユル著『家畜の歴史』（譯、大正十四年二月八日ヤル
ス・フタバユル科學知識叢書）、『コキを打ち』（大正十四年十二月一
日ヤルス）、可邦譯歌詞問
題の前後『鶴嶽・批判篇』（合著・永井郁子、大正十
五年八月十八日噴泉堂）、『フタバユル科學知識全集』（譯、7冊鳥獸
の進化』昭和五年二月五日、4冊科學の不思議』四月五日ヤルス）、
『夜知麻多』（昭和十二年八月一日草木堂出版部）、『俳句入門』（安
成山耳著、昭和十七年五月五日月明會出版部一月明文庫）、『白雲
の宿』（昭和十八年九月十日越後屋書房）、『花万葉』（昭和四十七
年十二月十五日同成社）、『無政府地獄—大杉栄傳記』（昭和四十八
年十月一日新京社）等。